

あじさい



〒650-0013 神戸市中央区花隈町33番19号 Tel. (078) 351-0657 (代表) <http://www.kobe-kango.ac.jp/>



未来プロジェクト学習の成果

自らの意志で学ぶことを実感して

社団法人 兵庫県民間病院協会 神戸看護専門学校

第一学科教務主任 湯浅佳子

爽やかな季節になりました。
あじさい3号でもご紹介しましたが、本校は
昨年度から、鈴木敏恵先生によるポートフォリ
オを活用した未来教育プロジェクト学習を導
入しました。

プロジェクト学習は何のために(ビジョン/
願い)何を成し遂げたいのか(ゴール/目標)
を明確にしてスタートします。昨年は「ナイチ
ングールのまなざしをもった心優しい看護師
になりたい」という自分たちの願いから「大切
な人の健康を守る提案集を作る」という目標
に向かってスタートしました。最初に各自が自
分の大切な人を一人決定し、観察やインタビュー、
文献の検索などを行い、その過程で集めた情
報をすべてポートフォリオに入れていき、大切
なその人の健康課題とその原因を明確にし、
解決策を具体化していきます。そしてこれら
のプロセスをまとめてプレゼンテーションを行い、
皆からの評価を得たものをもとに再構築し、
自己の成長を確認していくというものです。

このように書いていくと簡単なプロセスの
ように思えるかも知れませんが、学生にとっ
て平穏な道のみではありませんでした。
しかし「情報とは何か」「価値ある情報」につ
いて悩んだ結果、活動量や食事の摂取量を中心
に詳細に情報を得ていくことで、摂取エネルギー
と消費量のアンバランスに気づくことができま
した。またこれらの学習で、「コミュニケーション

の技術や倫理的な配慮の大切さに気づくこと
もできたのです。試行錯誤しながらの学習で
したが、プレゼンテーションを終え再構築した
成果物は、充実した内容のものが多く見られ
ました。

この未来プロジェクト学習を通して、①課題
を発見する能力②対象と関係を築くためのコ
ミュニケーション能力、③エビデンスの基づいた
情報を吟味する能力、④自らの考えを表現す
る能力、⑤自己や他者を客観的に評価する能力
が獲得できると実感しています。そして何より
も、これらの学習成果から自己成長を確認す
ることによって自己効力感が高まります。

新カリキュラムの特徴は「看護の実践能力の
育成」です。厚生労働省が「新人看護職員の臨
床実践能力の向上に関する検討会報告書」で
示された実践能力の土台がこの学習を通して
養うことができると私は期待しています。

鈴木先生の研修を受け、私たち教員も未来
プロジェクト学習にグループで取り組みました。
時間の制約がある中で取り組みは学生と同
様に大変でしたが、この取り組みを通してビ
ジョンとゴールを明確にすることの大切さを再
確認することができました。まだまだ始まった
ばかりのプロジェクトですが、「自らの意志で
学ぶ人を育てる」教育をめざして頑張ってい
きたいと考えています。

平成21年度 入学式の模様

平成21年4月3日 兵庫県民会館にて入
学式が執り行われ、第一学科16期生38名第
三学科7期生39名の新入生を迎えました。
第二学科は今年で募集を停止、この日の
学生が最後の入学生となりました。

学生達は学校長や来賓の方々より医療人、
看護職としての心構えや励ましの言葉を受け、
決意も新たに看護師への道をスタートさせ
ました。

2年後、3年後には看護師としての自覚
と自信を持って巣立つて行けるよう、学校は
全力でサポートしていきます。





第一学科
3年
松下 泰

熊本の准看護学校を出て、神戸に来て3年目になりますが、看護の世界は広いなあ〜と強く感じます。今日までのことを、振り返ってみると、人間の力強さや奥深さを数多く体験し、人との繋がりの大切さを深く学ぶことが出来たように思います。

後残すは、臨地実習での学習を積むことと、看護師国家試験のみとなりました。実習は看護師としての栄養を蓄える時だと思えます。実習での出来事全てを大切な栄養として吸収し、一分一秒無駄にせず、頑張りたいと思えます。看護師は患者さんの一番近くに居る存在です。そのことを念頭に置き、患者さんの思いを理解することに努め、患者さんの意に添った看護が実践できるように望みたいと思えます。



第二学科
16期生代表
前田 雅子

3月に准看護学校を卒業し、看護師を目指すために神戸看護専門学校へ入学しました。この学校へ入学して1ヶ月経ちますが、クラスメイトは年齢や経歴などさまざまですが、友達が出来るか、授業についていけるかなど不安でいっぱいでした。しかし、グループワークをすることでクラスメイトと触れ合う機会ができて、すぐに打ち解けることができました。授業も最初は朝から夕方までという拘束時間に疲れを感じていましたが、少しずつ慣れ生リズムが整ってきました。授業内容は今までよりもさらに奥が深いですが、今まで以上に知識・技術を学び、看護とは何かを考え、人を愛し思いやりのこころを養い人間的にも成長していきたいです。そして、この学校で出会った仲間を大切にして2年間頑張ります。



第三学科
7期生代表
高田 博文

陽春の桜咲く季節に、兵庫県民間病院協会神戸看護専門学校に晴れて入学できたことを、大変嬉しく感じています。入学式を終え、最初は私自身、緊張していましたが、同じ目標を持つ同期生と次第に和気藹々と話をする事ができ、不安な気持ちも吹き飛びました。教員の方々から学校での規則及び授業内容を聞き、看護学生としての使命感を強く自覚しました。一日が終われば、家に教科書を持ち帰るとき非常に重くて大汗をかきました。だが、この重みが看護師として患者様の命を預かる責任の重さだと改めて認識しました。将来、心やさしく患者様に寄り添える看護師を目指します。

未来教育プロジェクト学習 第一学科 細川順子



今回、「未来教育プロジェクト学習」の提唱者である、千葉大学特命教授の鈴木敏恵先生を講師にお招きし、4月9日に未来教育プロジェクトを開催しました。受講した学生達にとっては、入学して4日目という緊張と疲労がピークにある時期でした。しかし、今回の講演も非常にハワフルなトークで講演が展開されたため、全ての学生がメモを取りながら身を乗り出すように聞きました。

聴講を終えた学生達は「マイナス思考だったのですが、パッと花が咲いたようにプラス思考になりました!」「自分で知識を獲得して、それを活用できる看護師になりたい!」など、明るい表情で感想を聞かせてくれました。この講演を通して、それぞれが自分の成長を自覚し、看護師としての自己実現へのモチベーションを向上させることが出来たようです。

今後、1年生達はこの手法を用い、思いやりのある看護師を目指すことをビジョンとした、「ナイチンゲールのまなざしを持つプロジェクト」というプロジェクト学習を実践し、ポートフォリオにまとめ、秋にはプレゼンを行う予定です。このプロジェクトを通して、学生達がどのように目標に近づいているのか、その成長の様子を、この「あじさい」を通して皆さんにお届けしていきたいと思っております。



平成21年度特別記念講演

2009.4.24(金) 9時半～11時
兵庫県看護協会2階 ハーモニーホール

NPO法人 なごみの里の理事長である柴田久美子先生をお招きして『尊厳を守り「幸せな死」を迎える「年齢者」を支えて』のテーマで特別記念講演を実施しました。

島根県の港から船で約2時間。隠岐の知夫里島で「看取りの家」を運営している柴田先生の「尊厳ある死とは何か」をわかりやすく、丁寧にお話していただきました。

高齢者社会を向かえている現代、死は敬遠される存在ですが、人間は死に向かつて生きているからこそ幸せを感じられ、人との出会いが大切であること、また愛は人を幸せにしてくれることをもう一度教えていただきました。もう一度というのは、柴田先生のお話が懐か

しく、かつて出会った話のような気がするのです。高齢者の方々を支えているという傲慢さを正され、年齢者の方々の「人を癒してくれるエネルギー」のすごさに感動した講演であったと思います。

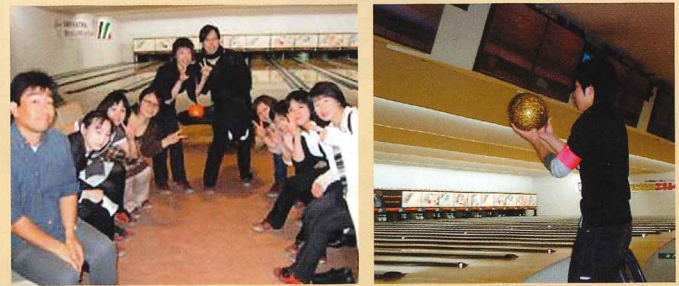
高齢者との関わりが希薄な現代の学生たちに、一人ひとりの死にどのような自分でいのかと考えることができます。



平成21年度 新入生歓迎会

78名のフレッシュな新入生を迎え、4月24日に六甲ボウルで初めてのボーリング大会が開催されました。各科合同のチームでは自己紹介から始まり、楽しく笑顔で交流を図りながらボーリングを行いました。この歓迎会での交流が、新入生の今後の学校生活につながることでしょ。

実行委員の皆さん、企画から運営まで本当にお疲れさまでした。



講師会

第三学科 鶴飼 知鶴

平成21年度 講師会が3月28日(土)16時半から本校の7階視聴覚室に於いて開催されました。第二学科第三学科の非常勤講師32名を招いて昨年度の本校の取り組みとしてのプロジェクト学習の成果を副学校長が紹介しました。また、今年度の新入生の特徴や第三学科はカリキュラムが変更になりましたので、変更の意図である看護実践能力の強化を学校としてどのように教育内容に含めたのか説明しました。

平成20年度学生就職状況・国家試験合格率

平成21年3月31日現在

学科	卒業生数	兵庫県内		進学	国家試験合格率	
		公的	民間			
第三学科	3年課程	35	4	28(28)	1	97.1%
第二学科	2年課程 全日制	31	7	14(14)	0	90.3%
第一学科	2年課程 定時制	36	4	26(25)	0	94.4%

()内は兵庫県民間病院協会の会員病院

前期行事予定表

行事	
4月	入学式 健康診断 防犯・防災訓練 新入生歓迎会 特別講義
5月	卒業生の体験を語る会 学外研修 学校説明会
6月	就職説明会
7月	オープンキャンパス
8月	夏季休暇

■ 社会人入試の強化 事務部

本校は昨年より第三学科の入学試験に社会人入試を導入した結果、昨年から社会人として少なくとも3年以上経験のある方々が入学して来られました。これまでも一般人入試で大学や短期大学卒業の方々も入学して来られましたが、社会人入試の導入により年齢の高い方々が入学しています。中には家庭を持った方もおり、非常に真剣でモチベーションも高く学業に励んでいます。今後は会員病院に勤務されている医療事務や看護助手の方々など何等かの形で医療関係の仕事に従事されている方々に応募して頂き、卒業後に元の所属病院に就職されると言う循環が出来れば学校の存在意義が高まるのではないかと考えていますので社会人入試の強化を今後検討していきたいと思っております。

教育理念・教育目的・教育目標

教育理念

本校は兵庫県下の民間病院の医療を担う看護者の育成を目的とし、医療安全に対する意識を高く持ち、自ら感じ考え行動できる専門職業人の育成を目指す。

看護はあらゆる健康状態の人々を対象とし、生涯を通してその最期までその人らしい生活を送れるように支援することである。

また、学生一人ひとりをかけがいのない存在としてとらえ、可能性を引き出し、その能力を最大限に発揮できるように支援する。

教育目的

本校は看護師に必要な基礎的知識・技術・態度を修得し、豊かな人間性を育み、倫理的価値観を形成し、兵庫県下の民間医療に貢献できる看護の実践者を育成することを目的とする。

教育目標

1. 生命の尊重と人間愛を基礎とし、相手を思いやる豊かな人間性を養う。
2. 人間を統合的に理解し、看護を必要とする対象に対して、根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
3. 看護職としての役割と責任を認識し、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる基礎的能力を養う。
4. 自らの意志で学び、よりよい看護を探究する基礎的能力を養う。



(西校舎)



(東校舎)



**スマイルサポートメッセ神戸2009
神戸すこやかライフ展**

神戸において開催された健康と福祉の総合展である「スマイルサポートメッセ神戸2009 神戸すこやかライフ展」に当校も出展しました。参加した学生は、日頃の学習成果を活き活きとプレゼンテーションしていました。(2009年4月4日(土)、5日(日)の2日間 神戸国際展示場3号館にて)

あじさい 第4号
発行日 平成21年6月5日
発行所 社団法人兵庫県民間病院協会
神戸看護専門学校
発行責任者 松田 彰功
印刷所 有限会社 河里盛広館

編集後記

2年前、会報誌の名前を何にするか広報委員会で話し合い、本校の校花でもある「あじさい」に決めました。そのとき、私たちはこの名前に次のような願いを込めました。

あ：挨拶 返事(answer) 後片付け。じ：自分の力を信じる！ さ：最後まで諦めない！ い：今、できることから始めよう！ です。

これは簡単なようで、なかなか難しいことです。あじさいの発刊も3年目を迎えました。時が流れても、「あじさい」の心が風化しないように、これからも学生たちに伝えていきたいと思っております。これからも、学生・学校への御支援と御協力をよろしくお願い致します。

長谷川由香

同窓会からのお知らせ

同窓会会長 北中恵子

同窓会総会を下記日程にて開催いたします

日時	平成21年7月24日(金) 13:00~14:30
場所	社団法人兵庫県民間病院協会 神戸看護専門学校 西校舎7階セミナー室 神戸市中央区花隈町33-19 Tel. 078-351-0657 info@kobe-kango.ac.jp
議題	①新役員及び新入幹事紹介 ②今年度の活動計画 ③前年度収支報告 ④その他